

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年11月12日

【評価実施概要】

事業所番号	0177600319		
法人名	メディカル・ケア・サービス北海道 株式会社		
事業所名	愛の家グループホーム 石狩花川		
所在地	北海道石狩市花川404-12 (電話) 0133-72-8870		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成21年11月10日	評価確定日	平成21年11月16日

【情報提供票より】(平成21年10月25日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)16年9月14日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18人
職員数	17人	常勤	15人, 非常勤 2人, 常勤換算 14.6人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り		
	2階建ての 1~2階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	64,000円	その他の経費(月額)	21,000~28,000円	
敷金	有() 無()			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(100,000円) / 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,000円			

(4) 利用者の概要(10月25日現在)

利用者人数	17名	男性	4名	女性	13名
要介護1	4名	要介護2	5名		
要介護3	4名	要介護4	3名		
要介護5	1名	要支援2			
年齢	平均 85歳	最低	74歳	最高	93歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	花川病院 ラビット歯科 さくら歯科クリニック
---------	------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

法人全体の理念達成の為に、ユニット毎の目標を明確にし、職員一人ひとりの目標を来訪者にも分かりやすいように掲示するなどケアサービスの質の向上に常に取り組んでいる2ユニットのグループホームです。敷地は広く、家族、来訪者等、職員の駐車場スペースも十分に確保され、畑では野菜の収穫なども楽しみ玄関入り口には、菊や花を植えたプランターなど飾られ家庭的雰囲気が感じられる工夫がされています。また、法人全体で「ご家族アンケート」を実施して、改善点を見出し、その結果を公表して取り組みへの理解を得る活動や認知症サーポーター「キャラバンメイト」の活動で認知症について地域の理解や広報にも取り組んでいます。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価では、緊急時の速やかな対応について改善点が挙げられていましたが、消防署の協力を得ながら避難訓練を日中及び夜間を想定して定期的実施されています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 全ての職員が参加して、自己評価が行われ新たな気づきや改善の機会として評価を活かした取り組みが行われています。また、外部評価の結果についてはユニット会議を通じて話し合わせられ運営に反映されています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は、2ヶ月ごとに実施され主な議題は 行事等の活動報告について ご家族アンケートの実施及び結果について 町内会行事参加(敬老会等)について あかしあ会館の運営について 災害時の安心ネットワークについて など
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 毎年、ご家族アンケートを実施して、意見や苦情等を言い表せる機会を設けると共にそこでの改善結果について公表する取り組みが行われています。また、来訪時には話し合う機会を設けて不安な点や要望、健康状態など意見交換され、ケアサービスに活かす取り組みが実践されています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) キャラバンメイトの講演活動で地域の人達に認知症について理解や広報する取り組みや町内の清掃活動、ゴミ拾いなどの行事参加など日常生活を通じて地域との交流に努めています。また、近隣の人達の主催する「うどんの会」参加や野菜など持ってきて戴く馴染みの人達との交流を通じて地域との連携が深められています。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えるサービスとして、事業所独自の理念及びユニット毎も目標を掲げている。		特筆すべき点として、一人ひとりの職員の目標を掲げて家族、来訪者に取り組みを分かりやすく掲示している。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は、理念を毎朝唱和し、その実践に向けてユニット毎の目標を掲げている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	キャラバンメイトの講演活動で地域の人達に認知症について理解や広報する取り組みや町内の清掃活動、ゴミ拾いなどの行事参加など日常生活を通じて地域との交流に努めている。また、近隣の人達の主催する「うどんの会」参加などを通じて地域との連携が深められている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	全ての職員が参加して、自己評価が行われ新たな気づきや改善の機会として評価を活かした取り組みが行われている。また、外部評価の結果についてはユニット会議を通じて話し合わせられ運営に反映されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は、2ヶ月ごとに定期的実施され家族、町内会役員、他施設の介護支援専門員、民生委員、包括支援センター職員、管理者及び職員で構成され具体的に活動に取り組んでいる。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>キャラバンメイトやケア連絡会、包括支援センター主催の職員交流会を通じて行き来する機会を作り、ともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
<p>4. 理念を実践するための体制</p>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>グループホーム石狩花川たよりを毎月発行し、敬老会、誕生会などの行事参加の様子や日常生活の様子を家族に報告している。また、金銭管理は毎月報告し、健康状態変化については都度報告している。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>毎年、ご家族アンケートを実施して、意見や苦情等を言い表せる機会を設けると共にそこでの改善結果について公表する取り組みが行われている。また、来訪時には話し合う機会を設けて不安な点や要望、健康状態など意見交換されている。</p>		<p>特筆すべき点として、毎年ご家族アンケートが実施されサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の離職率は低く、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように取り組んでいる。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	入社時研修やステップアップ研修など法人内で職員の段階に応じた研修が充実している。また、認知症ケア学会や高齢者研究会などの外部研修参加も積極的に行われている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域の研修会参加やキャラバンメイトの集い、職員交流会を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、入居前には本人、家族の見学などで職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	本人を介護される一方の立場におかず、思いや意向を把握して掃除や洗濯、調理や盛り付けなど一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>センター方式を利用して、一人ひとりの思いや意向の把握に取り組んでいる。また、入浴のタイミングや食の嗜好の把握、外出や趣味への支援など本人の希望や意向を尊重した取り組みが行われている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、介護計画は作成され、利用者、家族の希望や医師からの助言、職員からの意見を取り入れ具体的になっている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護支援専門員の適切な監理のもとに、個別の期間毎の評価を実施し、状態変化に応じて現状に即した介護計画の見直しが行われている。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、散歩や買物、通院への支援、訪問美容の利用など柔軟に行われている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人及び家族等の希望を大切に、月2回の協力医の往診や必要な場合には歯科医師の往診、専門病院の通院など気軽に相談できる医師が確保されている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人・家族の意志が確認され、医師と相談しながら職員間で方針が共有されている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員のマナー研修が実施されている。また、一人ひとりの誇りやプライバシーに配慮した声かけや記録の扱いをしている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか把握して、行事参加や散歩、買物や図書館訪問、外食など希望にそって支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、食材の買出しや料理、盛り付けや配膳の準備、食器洗い等職員と利用者が一緒になって行っている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、週2～3回を目安に入浴を楽しめるように支援している。また、拒否の強い利用者にも根気強く対応している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの生活歴や力を活かしながら散歩や買物、デパート訪問や美術館見学、町内会行事参加など楽しみごとや気晴らしの支援をしている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	一人ひとりのその日の希望にそって、買物や散歩、大根・トマト・かぼちゃなどの野菜の収穫など戸外にでかけられるように支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、日中 鍵をかけずに自由に入出入りできるようになっている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>防災備蓄食料も保存され災害対策が行われていると共に防火管理者が配置され、夜間を想定した火災避難訓練や自衛消防訓練が定期的実施されている。</p>		<p>今後は、近隣の火災に備えた避難誘導や一時避難場所の確保など検討されることを期待します。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>栄養バランスや摂取カロリーについて管理栄養士によるメニューが作成され、献立表にカロリーが表示されている。また、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>敷地内は広く、来訪者や職員の駐車場の確保や畑では野菜が作られ利用者の楽しみごととなっている。共用の空間には、観葉植物が多く飾られたり、壁には行事参加の写真が飾られ家庭的雰囲気を出している。利用者にとって気になる臭いや音の大きさや光の強さは感じられない。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には、本人や家族と相談しながら、家族の写真や仏壇、観葉植物が飾られ本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。